

[質疑応答1] 文中敬称略

■埋葬について

Q：歯が西の隅から出てきたということですが、埋葬のあり方としてキリシタン系の墓というのは、どちらのほうに頭を向けるとか決まっているものなのでしょうか。

A(大石)：今回は西側に頭があり東側にやや屈葬状態で骨が出ています。この点から言えばキリシタンの埋葬というのは基本的に伸展葬です。葬り方については、今後調査しないといけないのですが、おそらくキリスト教的な埋葬ではなかっただろうと思われま



Q：仏教徒の西方浄土という埋葬に見せたという印象があるのでしょうか。

A(大石)：これについても今後検討します。というのは葬り方というのは地形によってもいろいろなバリエーションがあります。この墓所の伝承にあるように遺体が向こう(大村)の玖島城をのぞむようにする場合には、西側に頭を置くことになります。そのような考え方もできますから、単なる宗教による埋葬の仕方かどうなのか、今申し上げたような宗教以外の要素が加わってくるのかどうか、今後検討しないと



墓所より大村方面を望む 中央建物左奥の方に玖島城が見える

Q：墓壙と棺のサイズを教えてください。

A(竹田)：墓壙のサイズは東西が約1.2m、南北が約1.1mくらいです。棺は東西に約90cm、南北に約45cmくらいだと思われま

Q：棺のなかに入っているのは一人ですか。

A(大石)：それはまだわかりません。(棺の)大きさは1人分ですので、可能性として1人かもしれません。

Q：墓碑に戒名が2人刻まれているということは、この墓所には2人が埋葬されていると考えられますが、今回出た骨片を鑑定したとして1人または2人が入っているのかということはどうわかりますか？



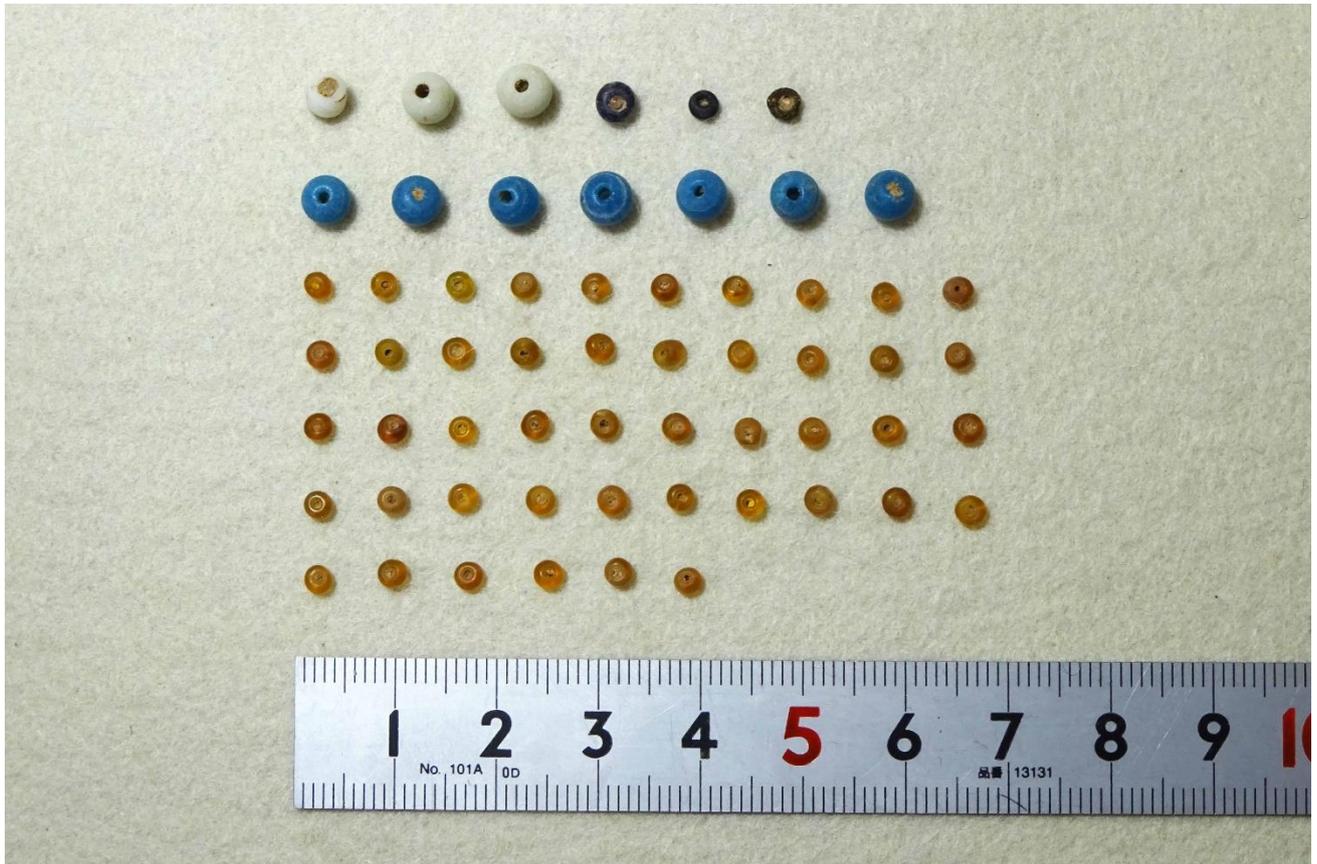
A (大石)：たぶんわかると思いますが、分析を待たなければなりません。本来は夫婦墓ですから、分析結果を待ってまた新たに考察をしたいと思います。

■遺物（副葬品）について

Q：玉の数とサイズを教えてください。

A：(大石ほか)：青い玉が7個、白い玉が最初に出たものを合わせると3個、おのおのが約5mm直径です。また紺色の中くらいの玉(2.5mm)が1個、黒っぽい2.5mmくらいの玉が2個。あと茶色の一番小さい2mm前後の玉が46個です。全ての玉には穴が空いておりビーズ状です。全部で59個になります。

今回出土したものに青い5mmの玉がありますが、先ほどの今野春樹先生によるとこれは全国的にみてもたいへん大きなものだそうです。高山右近の高槻城から出土した木製のロザリオの玉に匹敵するくらいの大きさだということです。さらにはアルカリガラスで、ヨーロッパ製の可能性が高いというコメントをいただいています。玉については今野先生がもうひとつ強調したいことがあるそうです。それは今回出土したものの種類が非常に多くカラフルだということです。こういうものは仏式の数珠としてはまず出ないそうです。それもこれらがキリスト教関係の遺物とする可能性を高くしている要素だそうです。



Q：今回出てきたガラス片は半円ですが、もとは円型だったものが何らかの原因で半分はなくなってしまったということですか。

A (大石)：その可能性はあります。ただロザリオの玉一個でも、それが宣教師によって祝別された聖なるものとして見た場合、信者にとっては最高に価値のあるものになります。一連のロザリオでなくても、

玉一個でも当時としては大変な意味をもちます。また古いヨーロッパ製と思われるガラスが、たとえどんな欠片であっても、信者にとっては本当の聖具になります。ガラスの用途については、そういうところも考えに入れながら、今後検討が必要だろうと思っています。

Q：ガラス板のサイズを教えてください。

A（浅田）：ガラスの幅が26mm、直径に相当する部分です。半径に相当する部分が14mm、正円ではなく楕円です。かまぼこ型に似ていますから横幅が26mm、高さが14mmということになります。

Q：ヨーロッパ製の可能性が高いというのは半円形のガラスと青い玉の2つだけですか。

A（大石）：今確実に言えるのはまずガラス板です。これはほぼ間違いないだろうと思います。ただあくまでも画像上での判断ですから断定はできません。その次が青い色の玉で、これもアルカリガラスの可能性が高い。また茶色の小さな玉もアルカリガラスの可能性が高いということです。

Q：キリシタンの遺物の可能性が高いということはわかったわけですが、1633年に埋葬されたときのものであるという根拠を教えてください。

A（大石）：まず墓の遺構周辺から出てきた石鍋とか貿易陶磁などの共伴物からみて、17世紀前期の墓壙であることはほぼ間違いないだろうと田中教授は仰っています。また墓そのものの遺構については、田中教授の見解で17世紀前期としてほぼ間違いないのではないかとということです。

Q：（遺物等の）出土の地点ですけど、地下どれくらいの地点でしょうか。

A（竹田）：基壇の根本まで検出をかけると地山※がでました。地山を掘り込んで墓壙を作っているのです、これをゼロとすると、約1.2mです。

※地山（じやま）＝盛土・表土・堆積物などを取り除いた自然のままの地盤のこと



上空（ドローン）より撮影した蓋石検出前の墓所全体像
画像提供：株式会社オリेंटアイエヌジー

（旧社名：九州オリेंट測量設計株式会社）